

各位

2025 年 11 月 4 日



急増するランサムウェア対策に AI 型 EDR「SentinelOne」 と SOC 連携 セキュリティ分野に特化した株式会社アクトとの協業を強化

～ハイブリッドクラウド基盤のモダン化に伴う防御体制を刷新し、「サイバー忍法帖®」を中心とする
セキュアクラウドシステム事業の信頼性をさらに向上～

株式会社ピー・ビーシステムズ（福岡県福岡市、代表取締役社長：富田和久、証券コード 4447、以下「当社」）は、セキュリティ分野に特化した株式会社アクト（東京都文京区、代表取締役 CEO：小林智彦、以下「アクト」）との協業を強化し、AI 型 EDR「SentinelOne（センチネルワン）」とアクトが運用するセキュリティオペレーションセンター（SOC）を統合した提案・運用体制を拡大します。これにより、可及的速やかな対応が必要な既存システムへの提供はもとより、ハイブリッドクラウドを活用した基幹システムのモダン化に伴うセキュリティ強化需要に対応し、EDR×SOC による統合防御ソリューションの提供を加速して参ります。

1. 背景：ハイブリッドクラウド時代の「守りの刷新」

今やほぼすべての PC がインターネット接続を前提とする一方で、ランサムウェアや標的型攻撃などのサイバー脅威は加速度的に巧妙化しており、従来のウイルス対策では防御が難しくなっています。攻撃を受けた際の被害額と対処額も従来とは比較にならないほど巨額なものとなり、経営をも揺るがす大きな問題となっています。

こうした中、当社は、AI による各 PC の振る舞い検知と自動防御を実現する次世代型 EDR「SentinelOne」が最適と判断しました。「SentinelOne」は、ファイルやプロセスの挙動をリアルタイムに監視、未知の不審な挙動を AI が即座に分析し、ネットワークから遮断。被害を最小限に留める可能性が高いソフトウェアです。そして、その監視と対処は、「ミリ秒単位」で攻撃を食い止めるため、脅威対応に人手を介する必要がありません。その後の詳細分析や原因調査はアナリストが平日 9 時～18 時の運用時間内で実施し、効率的かつ確実な対応を可能にしています。この仕組みにより、24 時間体制を必要とせずに高精度な防御を維持でき、コストの最適化とスケーラブルな SOC 提供（1 ユーザー単位からの提供）ができることも当社の顧客目線と合致しています。

2. 協業強化の狙い：販売・運用の両面で一貫サポート

当社は以前より、アクトと連携し、SOC と EDR を統合した提案を企業・自治体向けに展開してきました。今回の協業強化により、両社の技術・運用リソースをさらに密接に統合し、販売支援から導入・監視・保守まで

を一気通貫でサポートする体制を整えます。特に、アクトの SOC による常時監視と、エンドポイント（端末）上で AI 検知・即時対応が可能な「SentinelOne」の自律防御を組み合わせることで、“止めない IT 基盤”を実現し、万一の被害を最小限に抑えます。

3. 自社導入の実施：実運用による信頼性の裏付け

今回の協業強化にあわせ、当社は自社環境への EDR としてもアクトの SOC+「SentinelOne」の導入を決定しました。販売製品を自ら運用・検証することで、実際の検知挙動・対応プロセス・復旧までの流れを自社内で把握し、顧客提案時の実証データとして活用。理論ではなく“自社で動かしている”という実体験を基に、より説得力ある提案とサポートを実現します。

4. 今後の展開：「サイバー忍法帖®」を軸とした統合セキュリティサービス強化へ

今回のアクトの SOC+「SentinelOne」の導入およびアクトとの協業強化は、当社のセキュアクラウドシステム事業におけるセキュリティサービス全体の強化にも直結します。自社運用で得た知見を、当社独自の統合防御ブランド「サイバー忍法帖®」の防御メニューに反映し、EDR（端末防御）・NDR（ネットワークの挙動監視・脅威検知）・バックアップ・監視を統合した“レジリエンス強化ソリューション”へと発展させます。これにより、ハイブリッドクラウド基盤の安全性をさらに高め、企業が安心してシステムを活用できる環境を提供して参ります。

5. 株式会社アクト 代表取締役 CEO 小林 智彦氏 コメント

「ピー・ビーシステムズ様が弊社の SOC サービスと SentinelOne を自社環境に導入し、実際に検証・運用まで行っていただけることは大変光栄です。“販売と実証を両立させる姿勢”は、セキュリティ業界でも非常に価値のある取り組みであり、両社が協力することでより高品質なサービス提供が可能になると確信しています。」

◆株式会社アクトについて

1994 年の創立以来、社会の IT 化に対応し、お客様へその時代に合わせた最適なソリューションを提供してまいりました。今後も『時代の先を見据えた』IT ソリューションベンダーとして安全に便利で変化に強い社会の実現に貢献していきます。

会 社 名 : 株式会社アクト
本社所在地 : 東京都文京区小石川 1-3-25 小石川大国ビル6 階
代 表 者 : 代表取締役 CEO 小林 智彦
設 立 : 1994 年 11 月 11 日
資 本 金 : 1,000 万円
事業内容 : サイバーセキュリティ事業、システム開発、導入支援

◆WEB サイト <https://act1.co.jp>

◆EDR+SOC「セキュリモ」 <https://act1.co.jp/cyber-security/securimo/>

◆「データお守り隊」 <https://act1.co.jp/cyber-security/data-omamoritai/>

※アクトの「データお守り隊」は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）に認定されています。

◆「アクトの脆弱性診断」 <https://act1.co.jp/cyber-security/vulnerability/>

◆ピー・ビーシステムズについて

ピー・ビーシステムズは 1997 年に福岡で創業した IT 企業です。地元福岡・九州のみならず、空港や新幹線等交通の要衝・福岡市博多区を拠点として、全国の地域を問わず高品質な IT 支援を行っています。特に、首都圏のお客様には、東京営業部からの迅速なサービスを提供しています。企業・自治体の基幹システムのクラウド化を行うセキュアクラウドシステム事業と、VR ゴーグル不要の体験共有型 VR 装置 MetaWalkers®を製造販売するエモーショナルシステム事業を主軸に事業を展開しています。2019 年 9 月に福岡証券取引所 Q-Board、2022 年 10 月に東京証券取引所グロース市場に上場しました。主力事業であるセキュアクラウドシステム事業は、主に基幹システムのハイブリッドクラウド化、サイバーセキュリティ対策、スマートファクトリー化の推進等レジリエンスを中心として、企業・自治体のデジタルワークから DX 推進をサポートしています。エモーショナルシステム事業では、主力製品の MetaWalkers®が VR ゴーグルの装着を必要とせず、没入感溢れる 360 度の仮想空間を複数人で気軽に体験できる VR 装置として国内外の遊園地・テーマパークや文化施設、イベントなどで数々の利用実績を積み重ねています。さらに、あらゆる場所に映像体験を届ける進化系 MetaAnywhere™の提供も開始しました。メタバースの分野では専門部署のメタバース推進部を設置して、今後さらに需要が拡大すると思われる「企業向けメタバース」の構築サービスを提供しています。

会 社 名 : 株式会社ピー・ビーシステムズ
本社所在地 : 福岡市博多区東比恵 3 丁目 3-24
代 表 者 : 代表取締役社長 富田 和久
設 立 : 1997 年 2 月 6 日
資 本 金 : 3 億 5,026 万円 (2025 年 9 月末時点)
上 場 区 分 : 東京証券取引所グロース市場、福岡証券取引所 Q-Board (証券コード : 4447)
事 業 内 容 : **SCL : セキュアクラウドシステム事業**
・企業、自治体の基幹システムのハイブリッドクラウド化
・サイバーセキュリティ対策「サイバー忍法帖®」
・製造業のスマートファクトリー化推進
EMO : エモーショナルシステム事業
・体験共有型 VR 装置 MetaWalkers®の製造販売
・あらゆる場所に映像体験を届ける MetaAnywhere™
・企業・自治体のメタバース構築

◆当社の業績に与える影響

本件が当社の 2026 年 9 月期業績に与える影響は軽微であると判断しておりますが、今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかに開示を行います。

# 30-01 本プレスリリースの お問い合わせ先	株式会社ピー・ビーシステムズ 福岡市博多区東比恵 3-3-24 I R 担当 電話番号 : 092-481-5669 メール : ir@pbsystems.co.jp U R L : https://www.pbsystems.co.jp
---	--

※本プレスリリースの記載内容につきましては、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。